

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川建三

# JR東労組

# 本部OB会

# ニユース

No. 261 2019年 1月発行

## 最大の危機—OB会の役割とは



JR東労組OB会  
会長 古川建三

**OB会員・エルダー会員のみなさんに、2019年の年頭にあたりご挨拶を申し上げます。**

本部OB会は会員の皆さんや現役の各執行機関の皆さんの絶大なご協力をいただき、「次の10年に向けて立とう」を合い言葉に前進してまいりました。しかし東労組の18春闘方針を巡る取り組みの過程で組合員が大量に脱退し、組合発足以来最大の危機的状況を生み出し、OB会としてもかなりの影響を受けました。

この現実を立てってOB会としては、OB会発足の原点・原則に立ち戻り、「自主・自立」を確立し、人権・平和・民主主義を守る組織として頑張りたいと思います。その為に会員との接点を増やし、つながりを創り出していきます。それには役員の献身性が必要であり、その姿勢から必ず会員との信頼関係は強まると信じます。

## 迎春



本部OB会はここ数年OB会活動の基点を支部OB会へ移行していくことを提案してきましたが、組合事務所が無くなった所では個人宅をOB会の連絡所にして活動している献身的なOB会役員もいます。組織的危機を、「OB会の使命と情熱」で乗り越えたいと思います。今年も皆さんと連帯しながら「会員のためのOB会、人に優しいOB会」を目指し、その先頭に立つことをお誓い申し上げます。

## 健全野党結集へ

いまま第三次世界大戦を予想させる様な世界のトップ指導者による主導権争いが起きています。トランプ大統領・習近平主席・プーチン大統領らの駆け引きは「自国第一主義」「国家間のルール軽視」で、一触即発の危機を孕んでいます。また日本外交も、あっちこっちの「どさくさ外交」で、主要軸が見えていません。安倍政権になってからは、特に重要法案はことごとく強行採決で決められています。安保法案しかり、共謀罪、働き方改革関連法、カジノ整備法、そして入管難民法案等どれひとつとってもまともな議論はしていません。何としてもこの夏の参議院選挙では、健全な野党の台頭に期待したいものです。連合は夏の参議院選挙では、立憲民主党と国民民主党との間で個別に政策協定を結びましたが、与党を利さないためにも最大限の努力を期待したいと思います。

## 変革にも人間中心主義

東労組本部は、「2018政策フォーラム」を成功させました。労働組合として会社に対するチェック機能を発揮し、お客様の安心と職場の安全を創り出す役割は重要です。国鉄改革において、労使共同宣言を数度結び、会社の発展と組合員の幸せを追求して実現してきたその力が、まだまだ東労組に残されていることを誇りに思います。いままで日産の会長を務めていたカルロス・ゴーン氏は、容疑者として世界中にその名前が晒されています。日産はかつて塩路委員長と川又社長がタッグを組み、労使関係を「争議から労使一体化へ」とつくりかえ、自動車の主力メーカーに押し上げた話は有名です。その日産のカルロス前会長は、徹底した合理化で2万人以上の人減らしを強行し、カリスマ経営者として君臨する一方、年収20億円以上を報酬として受け取る感覚には、いくら資本主義論理であっても理解できません。日産の労働組合は何の役割を負ってきたのか、会社の監査体制は十分だったのか「人によるガバナンス機能」は大事です。東労組は「職場からの挑戦」で、人間中心主義で会社に対するチェック機能を十全に発揮して欲しいと期待します。本部OB会は、今、東労組の危機・平和の危機だからこそ、不条理に対して「抵抗するOB会」として、長年の労働運動の経験を活かしていくべきでしょう。健康で、生き生きとした高齢者である為に、もう一度汗を流しましょう。OB会員の皆様のご健勝をお祈りし、年頭のご挨拶とします。

本年もよろしく

お願いいたします



- |       |      |
|-------|------|
| 顧問    | 大熊勝明 |
| 会長    | 古川建三 |
| 副会長   | 宮田利昭 |
| 副会長   | 廣瀬隆之 |
| 副会長   | 難波和正 |
| 副会長   | 渡部良司 |
| 副会長   | 奥山光昭 |
| 副会長   | 伊藤義男 |
| 事務局次長 | 川崎昭雄 |
| 事務局次長 | 植松健  |
| 事務局次長 | 田崎行夫 |
| 事務局次長 | 鈴木正彦 |
| OB担当  | 田崎聡  |
| 担当書記  | 堀内紘乃 |

二〇一九年

元旦



JR東労組中央本部

副委員長 徳野 幸久

新年明けましておめでとうございます。

昨年、12月19日第37回臨時大会を開催し「JR東労組の存亡をかけた向こう2年を展望し未来を切り開くために12地本が総団結し全組合員と共に組織の信頼回復と強化・拡大を実現しよう」のスローガンで運動を展開することを確認してきました。臨時大会で新たな組織・財政方針を確立し、12地本が一つになって新生JR東労組運動を創り出す意思統一ができました。また昨年の6月JR総連・JR東労組の定期大会で、東京地本一部OBによる「JR東労組を憂う会」なる組織は組織破壊と確認し、本部OB会としても同様に組織破



JR総連OB連絡会

会長 奥山 光昭

平成時代最後の年明けをいかがお迎えでしょうか。

昨年は、JR東労組の組合員の大量脱退という事態があり各単組OB会も心を痛めました。JR総連OB連絡会は、組織の再生の為組合員の信頼を取り戻し、脱退者の復帰の取り組みを進めるJR東労組およびJR東労組OB会の運動を支持して行きます。

昨年は、災害の年でもありました。強烈な台風、大阪・北海道の地震、夏は中国、四国地方を連日記録的な豪雨が襲い多くの犠牲者を出し、今も避難生活を余儀なくされている人達がいいます。今の災害は忘れた頃でなく忘れる前にやってきました。「自分だけは大丈夫」などと思わず家族の事を考えてみましょう。

壊と断定しました。昨年12月14日に本部OB会に対して八王子地本OB会から「八王子支部OB会長が総会で『憂う会』について挨拶でふれたことにより、支部委員長から『OB会の活動の停止』『事務所への立ち入り制限』などが行われているとの報告と打開のための協力要請がありました。この内容が事実だとすれば本部OB会の団結を破壊する行為であり、この事態を一刻も早く解決し平常な姿に戻さなければなりません。中央本部は、組合員の信頼回復、組織強化・拡大をかちとるために、労働組合らしく組合員の利益を守るた

たかいを強化してまいります。OB会員の皆さんの心温まるご支援とご協力をお願いしまして、新年のご挨拶とします。

2019年 1月 1日

今年には政治決戦の年です。安倍政権の暴走にストップをかけましょう。安倍政権が「社会保障のため」と消費税を8%に引き上げて以降、年金、医療など社会保障費は削減され、高齢者の生活は厳しさを増しています。その様な中、今年には10%に引き上げようとしています。

一方で防衛費は年々増加し、さらに反対意見の多い改憲を強行しようとしています。絶対に許してはなりません。平和・人権・民主主義を守り抜くために行動しましょう。

JR総連OB連絡会は、各単組OB会の取り組みを支援し交流を通じ組織強化に努めます。

「人生100年時代」、OB会員の皆さんが健康に留意し、「生涯労働者」の気概を持って元気に活躍されることをお祈りし、新年のご挨拶とします。

2019年 1月 1日

「行動する退職者連合」をめざして  
今年も精一杯頑張ります。



日本退職者連合

会長 人見 一夫

新年あけましておめでとうございます。

今年、政治決戦の年です。政治の流れを変えましょう。日本退職者連合は、連合が推薦する全ての候補者の当選をめざして取り組みます。

安倍内閣は、憲法改正の発議をめざしています。国民の意思と全くかけ離れた政策を強行しようとしており、認めるわけにはいきません。

さて、日本は、人口減少、超少子高齢社会に突入しています。2025年には75歳以上の人口が3,600万人となり、4人に1人が75歳以上になります。さらに年を追う毎に、高齢化と人口減少は進行します。高齢化が進む中で、社会保障のための財源確保は喫緊の課題です。不公平税制の是正、安定した雇用と労働分配率改善などが求められています。持続可能な社会保障制度確立の問題、特に年金、医療・介護等の充実に向けた取り組みなど、多くの重要課題が山積みしております。

日本退職者連合は、政策・制度要求を決定し、政府や政党に要請行動を行い、あわせて地方退職者連合の皆様も各県、市区町村への要請の取り組みを展開しております。こうした具体的な行動を通して、中央・地方での退職者連合が、住民からの信頼を得る組織となるよう今後も努力してまいります。

日本退職者連合は、100万組織をめざし安心、安全、未来に希望が持てる社会保障制度を確立するため、全国の仲間と現退一致の闘いを進め、今年も「行動する退職者連合」をめざして頑張ることを決意し、新年のごあいさつとします。

2019年 1月 1日

